

第1学年〇組 国語科学習指導案

指導者

1 単元 「わかりやすい文章を書こう」

2 指導観

近年、国語科では、読む力に比べ書く力が不足してことが課題とされている。その克服に向けた様々な方法が考えられるが、本単元では生徒同士が互いに書いた文章を読み合い、その良さを見つけることで「書く力」を身につけさせようと考えている。ディベートにおける反論は立論に対して受容的な態度をもつことはないが、この学習では相手の立場を尊重しつつ、自分の意見を主張するというを目的としている。観点を明確に意識した上で、具体例などを有効に活用し、言葉遣いや語句の選び方に留意することで分かりやすい文章を書くことができるようになることは大変意義深いことである。また、この学習は、他の人の意見を受容しつつ、自分の意見を伝えることができる姿勢と知識を身につけること（**価値的・態度的側面**）（**知識的側面**）も目的としている。

本学級は、男子15名、女子13名で活発で反応も良い学級である。4月の標準学力検査の結果から学力の比較的高い生徒と、学力の多少厳しい生徒が明確に分かれ、中間層が少ないという状況にあるということが分かった。多くの生徒は、指示されたことをまじめに取り組むが、学習に対する意欲も低く、理解力が不十分である生徒も数人いる。

学習集団として、集中できているときには発表も活発で、良い意見や次の展開につながる質問も出てくるなど良い雰囲気である。しかし、興味をもてない内容であったり、面倒な作業を求められたりする場合など、私語が増え落ち着かない状況になることもある。また、自己主張が強く、時としてきつい言葉で友だちの意見をおさえようとする傾向をもつ生徒もいる。

指導にあたっては、生徒が興味をもっている話題を提示し、皆が興味をもって学習に取り組む雰囲気を作っていく、適切な論点の整理、意見を構成するための具体例を選択する力を育てる指導を行う。その時、単に自分の意見の押しつけではなく、相手の意見や立場を尊重しつつ（**価値的・態度的側面**）自分の意見を受け入れてもらうためにはどんな論の展開を行えばいいのか（**知識的側面**）を特に考えさせていくことを視点に置きたい。

3 目標

国語への関心・意欲・態度

- ・ 友だちの考えた反論を読み、自分の文章の参考にしようとする。
- ・ 意見文に対し、反論に必要な内容を考えようとする。

書くこと

- ・ 話題に適した論点を整理し、適切な具体例を考えることができる。
- ・ 自分の意見を文章としてまとめることができる。

人権の目標（ 価値的・態度的側面 ）
・ 友だちの意見を受け入れる態度をもつ。
人権の目標（ 知識的側面 ）
・ 自分の意見を伝える知識をもつ。

- 4 計画 3時間
- 第1次 「論点の整理の仕方」「具体例の使い方」などのポイントを確認する
意見文に対する反論を書く。・・・・ 1時間
- 第2次 書いた文章を互いに読み合い，参考となる点を出し合う。
学んだことをもとに，意見文に対する反論を書く。
・・・・ 1時間（本時 1 / 1）
- 第3次 指摘された問題点を検討し，よりよい文章に書き直す。・・・・ 1時間

5 本時 平成20年9月25日(木曜日) 5校時 計画 第2次 1年〇組教室

(1) 本時の指導観

本時では，友だちが書いた反論を班で検討し，表現の良さを見つけていく。さらに，その学んだことをすぐに活かして別のテーマで書かれた意見文に対する反論を書く活動を行う。その中で，反論のポイントを意識して書くことの大切さを学ぶとともに，人の意見を受容しつつ，自分の意見を主張する姿勢と技能を育てる。

(2) 主眼

国語への関心・意欲・態度

- ・ 友だちの書いた文章から，参考となる良い点を学び取ろうとする。
書くこと
- ・ 友だちの書いた文章の良さを，理由をあげて指摘することができる。

人権の目標（知識的側面）

- ・ 自分の意見を伝えるよりよい方法を知る。

人権の目標（価値的・態度的側面）

- ・ 友だちの意見を尊重し，その上で自分の意見を伝えようとする。

(3) 準備

国語便覧

各班が考えた文章をまとめたプリント+ランキングシート

反論プリント

自己評価記録カード

マグネットシート

(4) 展開

学習活動・内容	類	教師の支援	評価(教科・人権の側面)	配時
1 本時の学習内容を確認する。 (1) 前時を振り返りを行う。 (2) 本時のめあてを確認する。 「友だちの文章から表現の良さを読み取ろう。」 (3) 自分の目標を決める。		本時のめあてに注目させ学習内容を把握させる。		3

<p>2 前回示された意見文について、各班で考えた文章を代表者が発表する。</p>			7
<p>3 発表された文章を次のポイントを意識してランキングする。</p> <p>相手の意見の良さを認める文章が書けている。 反論の観点が的確である。 具体例など材料の使い方が適切である。</p>	<p>単にランキングするだけでなく、理解の進んだ生徒については理由も書かせる。</p>	<p>書くこと 友だちの書いた文章の良さを、理由をあげて指摘することができる。 <プリントチェック></p>	8
<p>4 班で話し合っ、意見をまとめる。</p> <div data-bbox="264 981 600 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちの意見に耳を傾け、その上で自分の意見を主張する。</p> </div>	<p>ランキングを話し合う中で、互いの考えを深めさせる。</p> <div data-bbox="695 981 959 1171" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>意見交換がうまくできていない場合は助言し、場面に応じた技能の習得をさせる。</p> </div>	<p>関心・意欲・態度 友だちの意見から参考となる点を学び取ろうとしている。 <様相チェック></p> <div data-bbox="986 1059 1246 1328" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>価値的・態度的側面 友だちの意見を尊重し、その上で自分の意見を伝えようとする。 <様相チェック></p> </div>	8
<p>5 班ごとに発表する。</p>			
<p>6 2つ目の意見文について反論を考える。</p>	<p>今日の学習で学んだことを意識して考えるよう指示する。</p>		8
<p>7 学習のまとめを行う。</p>			2
<p>8 自己評価を行う。</p>			3
<p>9 次時の予告を聞く。</p>			1

